



自強不息

たゆまず自ら努め励む

誠実な生徒を育てる学び舎に

今年度、校長として本校に赴任いたしました。110有余年の伝統を礎として、単位制総合学科高校として躍進を続ける藤枝北高校に勤務できることを、大変光栄に感じております。

赴任以来三ヶ月余りですが、緑溢れる手入れの行き届いたキャンパスで、生徒たちが元気に活動している姿がとても印象的です。また、授業や部活動等に地域社会との連携や社会貢献活動がふんだんに盛り込まれ、生徒が自己を見つ



校長
石川 芳恵

同窓生が誇れる高校

め、社会について考え、自分の将来につなげていくことを目標とした実践的な学習が、3年間にわたって体系的に展開されていることが一つの特色であると感じました。さらに、「東に響ゆる高嶺の富士」と「西に流る大井の水」の壮大で清らかなイメージに、校訓「自強不息」の崇高な理想を重ね合わせた本校の校歌には、大変感銘を受けました。

校歌が謳っているように、本校が大方で真摯に努力を続ける誠実な生徒を育てる学び舎であるために、全力を尽くす所存です。同窓会の皆様には、今後とも変わらぬ御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

同窓会及び母校の発展



同窓会長
池谷 勇

平成二十八年度は同窓会役員の改選期にあたり、引き続き会長としてご推挙いただくとともに、第三十九回定期総会において承認されました。誠に光栄なことであり、同窓会及び母校の発展のために全力を尽くす覚悟であります。会員の皆様方には一層のご支援とご協力をお願いする次第であります。

振り返りますと、前期は同窓会活性化を目的に各支部の組織作りに取り組んで参りました。その結果、平成二十七年度末までに志太・榛原地域

の支部が三十四支部あるうち、十五支部が組織化され、支部活動も徐々に行われつつあります。また、未組織支部については今期も組織化を推進していただくよう啓蒙指導して参ります。

一方、同窓会員も支部によっては高齢化が進み、藤枝北高の新規卒業生が減少またはいない支部もあり、そうした環境の中で一部支部の統合再編を検討している時が来ていると認識しております。このことは会員皆様方のご意見を拝聴しながら検討して行きたいと考えております。

また、近年は同窓会員中に占める女性会員の割合(三十三・七%)、また今年の女性の入会者(五十七%)が年々大きくなつて来ていることに鑑み、

第39回定期総会が開かれる



女性会員が同窓会事業に積極的に参加していただくことも女性の役員を増やして参りたいと思います。

そのために、同窓会の活性化と併せて同窓会の魅力を創造することが必要であります。特に今年は同窓会設立百十周年(母校は創立百十四年目になります)になりますので記念事業を検討して参りたいと思っております。加えて、今期中に藤枝北高創立百二十周年記念構想も検討して行く所存であります。

さらに、平成二十八年度の藤枝北高への入学者の状況について触れたいと思います。昨年度は志願者が定員割れの状況でした。加えて、人口減少傾向の社会背景もあり先行きが懸念されましたので、同

窓会として学校側に対して必要な対策を講じられるよう昨年十一月十日付で要請して来たところですが、今年度(平成二十八年度)は志願者が定員二百名に対して二百四十九名で、一昨年同期藤枝北高は中部地区で倍率が最も高く、二五倍でした。

引き続き、藤枝北高が中学生や保護者の皆さんからもっとも「選ばれたい藤枝北高」になるよう、即ち選ばれる条件、魅力を具備した学校像を構築すべく学校側とも一層意志の疎通を図りながら同窓会として支援して参りたいと存じます。

また、生徒の募集活動にも協力して行く所存でありますので会員皆様方のご理解ご協力をお願い申し上げます。

28年度の主な事業

- ◆ 新入会員の入会式
- ◆ 支部の組織づくり
- ◆ 同期会同級会の開催
- ◆ 会員名簿の動向調査
- ◆ 長寿会員の調査
- ◆ 各専門委員会の開催
- ◆ 同窓会だよりの発行
- ◆ 同窓会設立110周年の検討

高校生による和食給食コンテスト 表彰式



志太榛原高校コンテストに
藤枝北が最優秀賞
カッソ空揚げなど六品

同窓会が学校へ要望

要望事項

- 生徒の学力向上への学校運営は!!
- 大学等の合格、就職率アップの補習授業の充実!!
- 運動部の一定以上の実績を!!
- 生徒の文化活動の成果と奨励策を!!
- 生徒間の協同と競争心の醸成を!!



校長幹部職員と対談

母校に思うこと

今回、同窓会の副会長を務めさせて頂くことになりました。宜しく願ひ致します。
家庭科から生活科になって二期生の私達、卒業してからかなりの年月が経ちましたが懐かしく思い出することが沢山あります。



副会長
四ノ宮恵美子

昭和三十一年、体育大会の途中、聖火が通るのを皆で迎えたこと、又初めて経験した田植えや金山寺を作ったことなど楽しい思い出です。そして現在、孫たちのような母校の生徒が熱心に靴磨の話をしてくれ、この靴磨でいろいろな料理を工夫していること、美味しいお酒を造った話など、とても嬉しく思います。
良き先輩と多くの同窓生にいろいろと教えていただけて来たように、これからは後輩に伝えて行きたいですね。
「自強不息」はわれらの理想：と唄った校歌を胸に！

新副会長



副会長
増田 信行

平成二十七年十月十七日に開催された理事会において、五名の理事と一名の名誉理事が次期役員選挙委員に委嘱され、私が選挙委員長の重責を担うことになり、当日第一回の選挙委員会を開催し、十二月十六日の先輩皆様のご指導、ご助言を頂きながら選挙委員全員で慎重に選挙を行い、候補者宅を訪問するとともに、電話等により、候補者のご意向を伺い役職の依頼を行いました。皆さまそれぞれに「事情」があり、ご都合等ありでしたが、新年度役員に選ばれた皆様には、最終的に引き受けていただき選挙委員長として心から感謝申し上げます。
また、藤枝北高同窓会副会長の一人に若輩の私が指名され、引き受けることとなりました。藤枝北高同窓会の名前を汚さぬよう精いっぱい努力する所存でございます。すべての皆様の「指導」をよろしくお願い致します。

同窓生が築かれた財産を大切に



教頭
川嶋安起夫

創立一四四年を迎える県内屈指の伝統校である藤枝高校に赴任し、身のひきしまる思いです。とともに、常に時代の要請に応え、総合学科としての陣容を整えた先見性あふれる校風に、大きな期待もふくらみます。同窓会の諸先輩の皆様には、陰に陽に生徒達を見守り支え、励まして下さることに深く感謝申し上げます。
本校に着任して一ヶ月、まだまだ分からないことはありますが、それでも、いくつかのことに気づきました。
一つめは、校内の環境美化が大変ゆき届いていることです。広い敷地内の様々な施設周辺にも、それらを維持する方々の「心」が見受けられました。
二つめは、生徒たちの素直さ、純朴さです。廊下ですれ違うときの元気な挨拶、授業中の前向きな取り組み姿勢。
こうした皆様の築かれた「財産」を今後も大切にしていきたいと思ひます。

顧問と新たに相談役と監査員

役 職	氏 名
顧 問	宗 彦 九 郎
顧 問	仲 野 英 夫
顧 問	石 川 芳 恵
相談役	甲 賀 圭
相談役	増 田 嘉 裕
監査員	杉 村 富 士 雄

北高生が日本酒作り山間地の活性化を!!

北高食品サイエンス部の生徒が酒造店と連携して、水窪の天然こうじ菌を使って日本酒作りに取り組んでいる。
オリジナル日本酒第3弾として同町の観光協会や商工会の協力を得て600本の販売を計画している。
同町になじみのある西尾教諭と生徒の力で山間部を活性化しようとした企画が実現した。



日本酒PRと水窪の関係者

商店街と連携してよい街への課題など学ぶ

商業を学ぶ二年生十九人が商店街の活性化への授業の一環として、商店街理事長さんと街の歴史や集客のため、白子百円商店街などへの取り組み、店舗の作成、空店舗対策などを学んだ。



名店街について学ぶ北高生

同窓会とPTAで北高を応援(学校後援会) 5月20日開催

学校後援会は同窓会とPTAで構成され、学校財産の維持管理や教育環境の整備、地域との連携強化、北高ストアの経営など総会で結果報告がされました。
決算額は収入4,881,077円、支出3,961,077円となった。
28年度の事業計画の概要は、役員改選と学校所有財産の経営、維持管理、百銘館の監理、教育活動の後援として生徒の部活動の支援、施設の整備修繕、樹木の剪定等が計画され、収支予算4,349,700円が提出され全会一致で承認され、28年度の後援会が発足されました。

環境リーダーに鈴木さんハワイでエネルギー問題を学ぶ

藤枝市は米国ハワイへ派遣する高校生環境リーダーの任命式を行った。

藤枝北高三年生鈴木皓夫さん他五人が選ばれ、ハワイのエネルギー事情や環境対応等について学び都市の環境問題に役立てて欲しいと北村市長から激励を受けた。
六人は八月十八日から二十四日までハワイで学ぶ。



今年も盛会だった北高ストア



800人余が来場(会場入口付近)



校門前に育む藤北の俵

27年度卒業生の進学・就職の状況

	男	女	計
進学希望者	39	61	100
合 格 者			
4年制大学	21	7	28
短期大学	2	13	15
大学校等	0	1	1
専修学校等	14	37	51
各種学校・その他	1	0	1
進学先未定者	1	3	4
就職希望者	46	52	98
就 職 内 定 者			
A 専門技術	2	2	4
B 事務	4	8	12
C 販売	1	4	5
D サービス	2	7	9
E 保安	0	0	0
F 農林漁業	0	0	0
G 運輸通信	1	0	1
H 製造	33	25	58
I 建設・労務	0	0	0
就職未決定者	1	5	6
そ の 他	0	0	0
公 務 員	2	1	3
合 計	85	113	198

一支部活動一

和田、豊田支部が結成



青島豊田支部長の役員会

支部は同窓会の礎

結成支部

朝比奈支部 豊田支部 大長支部
葉梨支部 和田支部 伊久美支部
西益津支部 静富支部 初倉支部
青島支部 永合支部 根支部
焼津支部 六合支部

紫苑(シオン)の会が再起!!

母校に明日の農村を担う生活科学科が誕生したが、平成6年、45年の歴史に幕を閉じた機会に、今後も同窓生がその絆を深めていこうと紫苑(しおん)の会が発足、休眠していた当会が昨年11月に再起しました。



紫苑の会を再起させたみなさん

TPPの経済圏



TPP 12 力国が署名
農林水産業が打撃か

高校生の政治活動、選挙運動に関する文科省通知のポイント

校 内

授業、生徒会活動や部活動	禁止
放課後や休日	制限または禁止

校 外

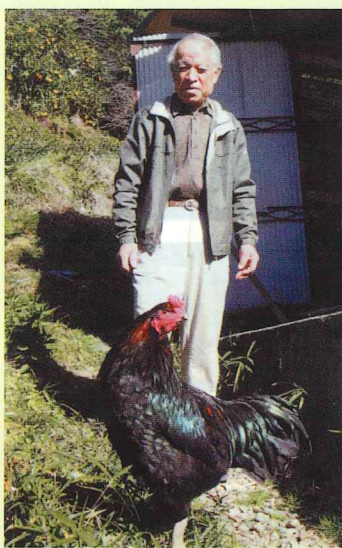
家庭の理解の下、生徒が判断して行う

違法、暴力的なもの	制限または禁止
学業や生活に支障	必要かつ合理的な範囲内で制限または禁止などの指導

高校生の政治活動

公選法改正で選挙年齢が十八才以上に引き下げられ、高校生の校外、校内での政治活動が文部科学省から通知が出された。

同窓会この人!



日本の養鶏界の重鎮
星野雅史さん(48回卒) 島田市野田在住

ひと昔前まで、色の黒い鶏は市場に出回っていませんでした。星野雅史さんが足の黒い鶏は生命力が強いと着目し、交配を始めたのが五十年前、風土にあったものを時間をかけて作る。と云う信念に燃えている。二十年前、先を見据え、重鎮である。

重鎮である。二十年前、先を見据え、重鎮である。

同窓会を支える事務局の皆さん



後列左 後藤事務長
後列右 石間事務員
前列左 是永事務員
前列右 木村事務員

ふと懐かしく想う母校 卒業生あつての同窓会

「ひよこ」を育てる為に畜産部の小屋に泊って過した幾日、鋭い打球を受け走った野球部、あの頃をふと思い浮かべ懐かしさが蘇ってまいります。

あの校舎で学び励んだ卒業生はそれぞれの人生の礎を築いてくれたのです。

卒業して同窓会のある事は知っていたが母校は百余年の歳月の中に農学校から総合学科校と変わり、校舎も改築され講堂も体育館となり炭焼小屋のあったグラウンドも様変わりし、女子生徒が年々増えその在りさまを知ることができなかつた。

私は役員を仰せつかり同窓会が何より大切なことは、卒業生を軸に頑張っている在校生の姿を知らしめることだと痛感した。

そしてこれから北高へ入学を志す後輩に選んでもらえるような学校、同窓生が誇れる北高、同窓生が主人公で役員だけのものでない選ばれる北高へと同窓会広報を通じてその道を開いて行けたらと、更に志太地域には高校が多く、その存亡は危急の課題でもある。

編集を終えて

亀山倉治